（様式 2）

令和6年度佐賀大学戦略的PSプロジェクト報告書

令和７年３月３１ 日

国際交流推進センター長　殿

申　請　者（代表申請者）
部　局　名　農学部
職　　名　学部長
氏　　名　鈴木章弘

下記のとおり報告します。

1．大学間交流協定校（国・地域）	ベトナム国家農業大学（ベトナム）を中心にして，カントー大学（ベトナム）とアンザン大学（ベトナム）が協力		
2．種別	A国際共同研究型　　~~B国際共同教育型~~		
3．実施代表者	辻一成	4．所属・職名	教授
5．連携部局	国際交流推進センター		
6．国際共同（教育）研究課題	地域農業・農村社会における持続的循環型経済の形成に関する日越共同研究		
7．令和6年度の実施内容	本プロジェクトの目的・目標の共有，研究テーマに関する認識共有		
8.参加者数 ※参加者名簿も併せてご記入ください	参加者数　51　名 内、教員・研究者数　37　名、学生数　8　名		
9．事業を通じて得られた成果及び今後の計画 ※事業実施の様子について、写真を3枚程度提供ください	【成果】 １）ベトナム国家農業大学（VNUA）と本学との間で本研究の課題に関する共通認識が醸成された ２）VNUAと本学側で本研究課題に関与する特定の中堅若手研究者人材が確保された ３）VNUAに佐賀大学のサテライトオフィス設置と双方大学の客員教授任命に向けて具体的な手続きの調整を開始した。		

循環型経済社会に関する視察

循環型経済社会に関する視察

国際セミナーでの意見交換

国際交流推進センター長表敬

【令和7年度】１）VNUAと本学の研究者メンバーで研究課題に即した共同での現地調査活動を開始する。２）１）のために研究者・学

	生の派遣と受入を継続して行う。３）１）の成果のひとつとして，国際的な学術誌に共著論文を少なくとも１編投稿する。
	【令和8度以降】１）VNUA内に佐賀大学のサテライトオフィスを開設する。２）VNUAと佐賀大学の両方にそれぞれ客員教授が任命される。
10. 支出額	金　額　　26,832　円 （内訳） 謝金　　0　円 （具体的に：　　） 旅費　　0　円 （海外渡航費●万円×研究者○名　等詳細を記載） 消耗品費　　円 （具体的な使用用途：　　） 雑役務費　　26,832　円 （具体的な使用用途：　会議費　　）
11. 他の外部資金等への申請状況	鹿児島大学国際セミナー開催支援経費，佐賀大学研究者交流事業
12. 実施者アンケート	
本事業の満足度（5（非常に良い）～1（非常に悪い））：4 支援経費は適切であったか（5（非常に適切であった）～1（非常に適切でなかった））：5 次年度以降も本事業の実施を希望するか：希望する そのほかコメント：令和６年度は，他の外部資金及び科学研究費（海外共同研究 B）最終年度の予算によってかなりの経費部分が負担できてしまいました。本予算の計画的な執行ができず申し訳ないと思います。しかし，令和７年度で上記科研は終了します。本研究課題を継続していくにはどうしても戦略的 PS プロジェクトの支援が必要になります。令和７年度も引き続き申請する計画ですのでよろしくお願いします。	

※欄内に収まらない場合、適宜、行を追加し、ページを増やしていただいても構いません。
※写真は学内外へ発信する広報に活用するため、映っている方々からの使用許諾済みのものをお送りください。また、写真データ（jpg または png）の送付をお願いいたします。(Word 貼付けとは別に)